

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 31 日作成)

委員会名	火害診断補修小委員会	主 査 名：吉田 正友
所属本委員会 (所属運営委員会)	防火本委員会	委員長名：長谷見雄二
設 置 期 間	2001 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>(設置目的): 学会として社会的に強く要望されている火害診断及び補修・補強方法の提案を行うため、研究活動の目的を限定し、集中的に作業を進めることで、耐火性小委員会より名称を変更し、2001 年度に設置した。</p> <p>(各年度活動計画) 2001 年度：火害診断及び補修法の再検討 (RC、S 造)</p> <p>2002 年度：火害診断及び補修法の確立 (RC、S 造)</p> <p>2003 年度：木造等、各種構造の火害診断・補修法の検討</p> <p>2004 年度：木造等、各種構造の火害診断・補修法の提案</p>	
委員構成 (委員名(所属))	吉田正友(日本建築総合試験所) 池田憲一(清水建設) 宮本圭一(鹿島建設) 森田武(清水建設) 上杉英樹(千葉大学) 大橋宏和(竹中工務店) 小林秀雄(日本設計) 杉田和直(大成建設) 鈴木淳一(鈴木建築測量設計事務所) 鈴木弘之(筑波大学) 高橋一郎(フジタ) 棚池裕(建材試験センター) 長尾覚博(大林組) 西垣太郎(大成建設) 三上藤美(東邦アーステック)	
設置 WG (WG 名: 目的)	コンクリート系 WG (目的) RC 造の火害診断及び補修・補強方法の見直しを行う。 鋼系 WG (目的) 鋼構造の火害診断及び補修・補強方法の見直しを行う。	
2003 年度予算	173,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	開催日：2003 年 4 月 15 日、6 月 3 日、7 月 31 日、9 月 10 日、10 月 2 日、12 月 11 日、2004 年 1 月 8 日、2 月 12 日、3 月 4 日 参加人数：各委員会平均約 10 名
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 火害診断補修小委員会で、種々検討を重ねてきた結果を、2004 年 3 月に、RC 造及び S 造に関し、「建物の火害診断および補修・補強方法」と題して、出版と同時に講習会を開催した。建築技術者をはじめ、各方面の方々に多数参加を頂き、成功裡に終了した。従来、この種の出版物が発行されていない状況であり、今後、火害診断、その後の補修・補強を行う上で、大いに役立つと考えられる。これまで、小委員会の成果をホームページ、建築雑誌(活動レポート「シンポジウム 構造部材の火害診断および補修・補強方法」、2003 年 7 月号) 大会(東工大の火害調査の結果)等で、随時公表した。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 当初計画であった「木造等、各種構造の火害診断・補修法の検討」は次年度に繰り越さざるを得ない状況にあった。しかし、RC 造及び S 造に関して、出版物の刊行に漕ぎ着けた意義は大きく、今年度の目標の達成度はほぼ 100% に近いと考えられる。
その他評価すべき事項	特になし。